2026.9.16

【貿易統計（26年8月）】

輸出金額は12ヵ月連続プラス、半導体関連がけん引

～輸出数量も6ヵ月連続プラス、先行きは当面、堅調な推移を予想～

経済調査部　主席研究員
藤田　敬史

ポイント

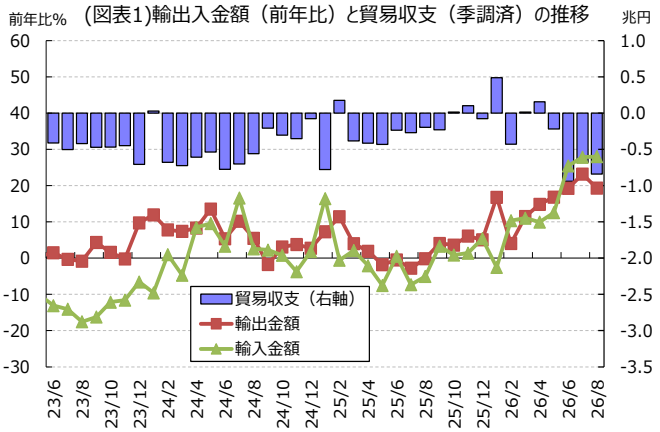
- **財務省の8月貿易統計によると、輸出金額は前年比＋19.3%と12ヵ月連続のプラス。季調済前月比は＋0.3%と6ヵ月連続のプラスとなった**
- **実勢を示す輸出数量指数は6ヵ月連続のプラス。商品別では、半導体等電子部品を含む電気機器、半導体等製造装置を含む一般機械などが引き続き堅調でプラスに寄与**
- **輸出の先行きは、AI関連需要の拡大が見込まれるなか、当面、半導体関連がけん引する形で堅調に推移すると予想**

1．季調済輸出金額前月比は6ヵ月連続のプラス

財務省から発表された8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比＋19.3%（7月：同＋23.2%）と12ヵ月連続のプラスとなった（図表1）。輸入金額は同＋28.0%（同＋27.9%）で7ヵ月連続のプラスであった。季節調整前の原値ベースで、輸出金額は10兆484億円、輸入金額は11兆1,540億円と、いずれも8月としては比較可能な1979年以降で過去最高となった。貿易収支は1兆1,056億円の赤字で、4ヵ月連続の赤字となった。

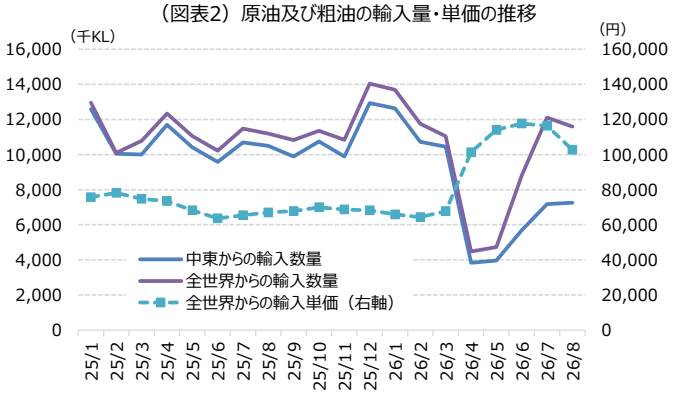
輸入金額では、原油及び粗油（前年比＋58.7%、寄与度＋5.1ポイント）や半導体等電子部品（同＋82.1%、同＋3.1ポイント）などが引き続き増加した（後述）。原油及び粗油の輸入は、代替調達が進んでおり、数量は前年比＋3.6%であった。一方、金額は同＋58.7%と大幅に増加しており、輸入単価は2ヵ月連続で小幅に低下したものの、高止まりが続いている（図表2）。地域別では、中東情勢が緊迫して以降、米国からの輸入増が続いており、金額は前年比＋1,026.6%、数量は同＋603.5%となった。一方、中東からの輸入は数量が同▲30.9%のマイナス、金

（図表1）輸出入金額（前年比）と貿易収支（季調済）の推移



（出所）財務省「貿易統計」

（図表2）原油及び粗油の輸入量・単価の推移



（出所）財務省「貿易統計」

額は同＋3.7%のプラスであった。

季調済輸出金額は前月比＋0.3%と 6 ヵ月連続のプラス、季調済輸入金額は同＋1.7%と 5 ヵ月連続のプラスとなった。季調済貿易収支は▲8,406 億円と 4 ヵ月連続の赤字で、赤字幅は拡大した。

2．地域別では EU、アジア、米国向けのプラスが続き、商品別では半導体関連がけん引

金額ベースの国（地域）別輸出は、EU 向けが前年比＋11.0%、アジア向けが同＋21.4%とそれぞれ 13 ヵ月連続のプラス、米国向けも同＋24.9%と 6 ヵ月連続のプラスであった（図表 3）。

金額ベースの商品別輸出では、半導体等電子部品を含む電気機器が前年比＋31.5%（寄与度：＋5.7 ﾎﾟｲﾝﾄ）とプラスに寄与した（図表 4）。半導体等電子部品は同＋52.3%（同：＋3.6 ﾎﾟｲﾝﾄ）と高い伸びが続いており、特にアジア向けが前年比＋56.1%と大幅に増加した（図表 5）。

半導体等製造装置を含む一般機械も前年比＋21.0%（寄与度：＋3.6 ﾎﾟｲﾝﾄ）とプラスに寄与した。半導体等製造装置は同＋40.1%（同：＋1.7 ﾎﾟｲﾝﾄ）で、特にアジア向けが前年比＋32.4%と大きくプラスとなった。

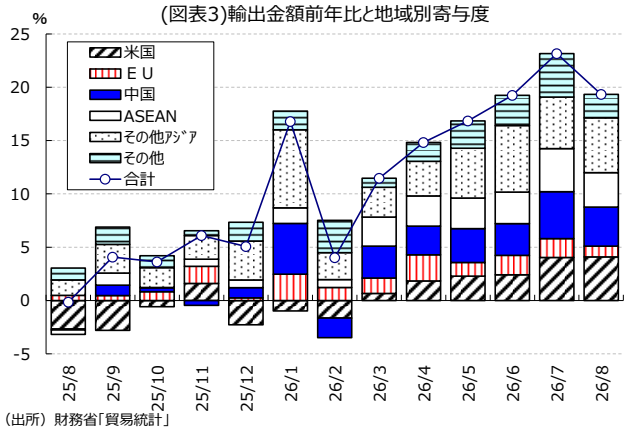
半導体等電子部品はアジア（前年比＋91.2%）を中心に輸入金額も大きく増加している（前掲、図表 5）。AI やデータセンター向けなどの半導体需要の拡大が、アジア域内の半導体関連のサプライチェーンを通じて、日本の輸出入双方を押し上げているとみられる。

3．実勢を示す輸出数量指数は 6 ヵ月連続のプラス、輸出は先行き堅調な推移を予想

輸出金額を価格指数と数量指数に分解すると、8 月は価格指数が前年比＋16.4%（7 月：同＋17.1%）、数量指数は同＋2.5%（同＋5.2%）であった（図表 6）。2026 年 8 月の為替レート（税関長公示レートの平均値）は 160.64 円/ﾄﾞﾙと、2025 年 8 月の 147.73 円/ﾄﾞﾙに対し 8.7%の円安であった。こうした円安により円換算金額が押し上げられる構図が続いており、価格指数は 13 ヵ月連続のプラスである。一方、輸出の実勢を示す数量指数も 6 ヵ月連続のプラスと堅調に推移している。

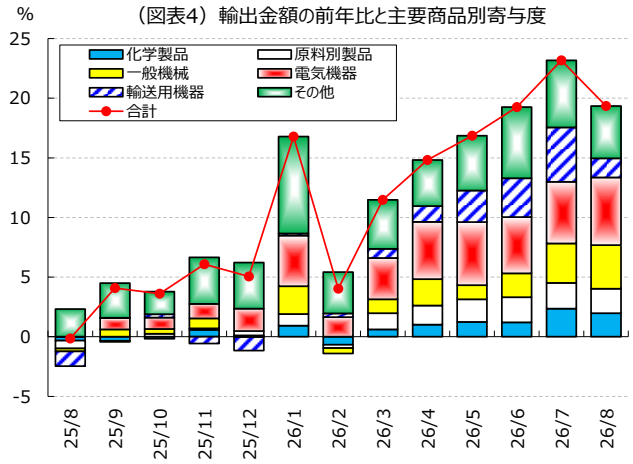
輸出数量指数を相手国・地域別に見ると、米国向けが前年比＋19.7%（7 月：同＋20.4%）、EU 向けが同＋

(図表3)輸出金額前年比と地域別寄与度



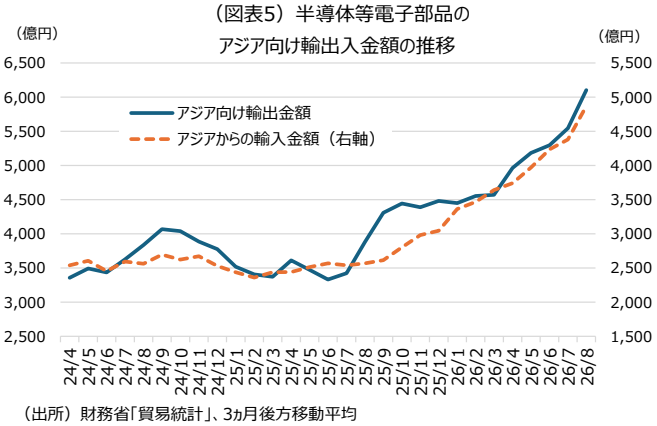
（出所）財務省「貿易統計」

(図表4) 輸出金額の前年比と主要商品別寄与度



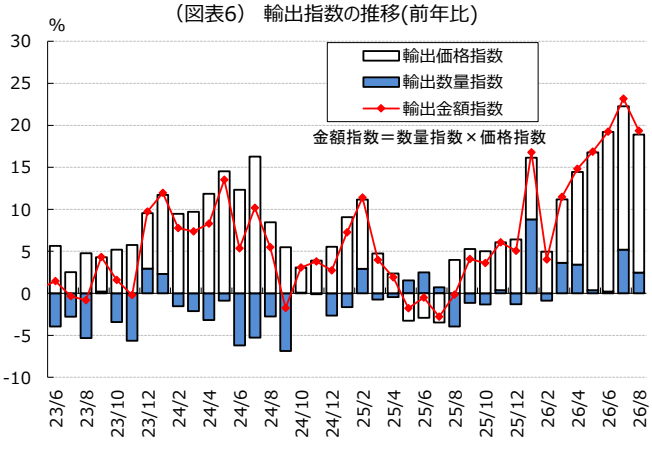
（出所）財務省「貿易統計」

(図表5) 半導体等電子部品の
アジア向け輸出入金額の推移



（出所）財務省「貿易統計」、3カ月後方移動平均

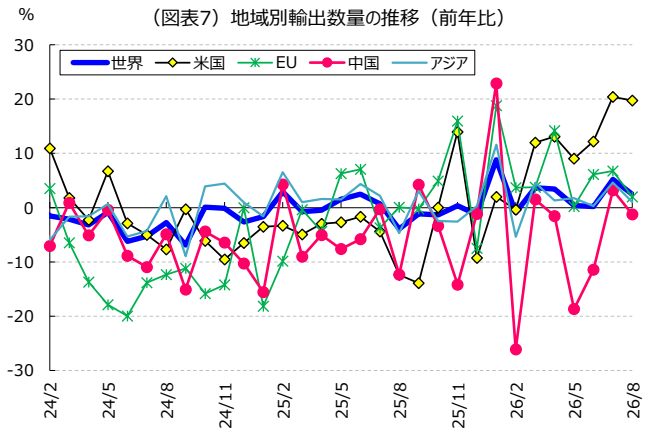
(図表6) 輸出指数の推移(前年比)



（出所）財務省「貿易統計」

2.0％（同＋6.8％）、アジア向けは同＋1.1％（同＋4.6％）、うち中国向けは同▲1.2％（同＋3.2％）であった（図表 7）。EU 向けは 8 ヵ月連続のプラス、米国、アジア向けは 6 ヵ月連続のプラスである。

輸出の先行きについては、AI の普及やデータセンター投資の拡大を背景に、半導体関連の需要拡大が続くとみられる。そうした状況をふまえると、アジア向けを中心とした半導体サプライチェーン向けに、半導体関連製品の好調が継続することが見込まれ、当面、堅調に推移すると予想する。



（図表7）地域別輸出数量の推移（前年比）

（出所）財務省「貿易統計」

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 主席研究員 藤田 敬史

電話番号：080 2298 8272

e-mail：takafumi.fujita@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3－2－11 TEL03-6261-6411